広報にいつ
発行人　新津市役所　新津市役所企画課
発行所　新津市役所総務課　電話(代表)500番
印刷所　坂爪印刷工業
毎月一回発行

市税など減免条例を制定

七・一七水害復旧に八千四百万
七月臨時市議会できまる

七・一七水害のため十八日の本会議は、議員発議の一件を議決しただけで散会しましたので、改めて二十日に本会議を開き、災害関係の一般会計補正予算など十六議案および諮問八件をそれぞれ関係部門委員会に付託、または即決が行なわれました。このほか二十九日の本会議には市税の減免条例、災害関係の補正予算など三件、議員発議一件が追加上程されました。

この議会で決った主なものは、

○市税条例一部改正（稲垣修吾（七日町）、成沢勝男（岡甲）、渕井竜吉（北上））

○一般会計補正予算八千四百四十六万一千円、このうち八千百九十五万円は災害対策関係予算。

○ＩＬＯ八七号条約批准に伴なう地方公務員法の改正による、市職員の服務に関する種々の規定や職員団体の登録・行為の制限などの条例の改正がなされました。

○「若日胡祭人の帰国事業延長施策を要請する決議」

○「小選挙区制反対に関する意見書の提出について」、以上の二つの決議がなされ、それぞれ関係官庁や団体に提出されました。

▼諮問▲

○県道荒浜線―荻川線の意見書の提出について（軍場から覚路津までの師裏）

○被爆者援護法の法制化と日本の非核武装宣言をはかるための諮問（援護法を制定し早急に併せて日本が核武装をしないことを要請するもの）

○踏小学校々地（屋外運動場）拡張に関する諮問（プール新設をの他により、プールが無くなったので隣接の田を買収されたいという趣旨）

○第二学校特別教室等増築に関する諮問（第二中学の特別教室を増築してもらいたいという趣旨）

○七・一七水害の被害者に対する市税、及び国民健康保険料の減免に関する条例が制定されました

○人権擁護委員者橋順敬氏が亡くなられたことにより、新たに次の方が推せんされました。真柄信平（柄目木）

▼議員発議▲

○「若日胡祭人の帰国事業延長施策を要請する決議」

○金津中学校体育館のステージ増設について（軍場から各種行政委員委嘱用氏名の提出）

（今回体育館の第二期工事が始まるので同時にステージ附設工事を実施願いたいとするもの）

以上の五諮問が採択されました。

○なお市の特別職の給与や各種行政委員委嘱用弁償額などを引上げる条例改正案は、次の議会まで継続審査となりました。

■県経由の救援物資が市役所に到着■

善意の救援物資配分
被災（床上浸水）六百五十世帯に

市災害対策本部は浸水地域から水も引いた二十五日、早速金額を勘員、床上浸水六百五十世帯に対し、その家族、児童数に応じ、毛布、歯布、タオル、その他身廻り品を配分品目として贈りました。

これら見舞品の配分には、市内婦人団体の好意で提供されたマイクロバス等意の救援物資が数多くよせられました。

市では、真心こもる多くの救援金品贈り主に、金市民の名で感謝の意をあらわすと同時に、配分委員会を通じ被災者への適正配分を行なって好意に報いることにしています。市内外からよせられた善意の救援金品は次のとおりです。（八月八日までの受付順敬称略）

水害見舞金

二万円＝県議会、五千円＝BS第三同、十万円＝県市長会、二千円＝県知事、五万円＝北越銀行、五万円＝新潟相互銀行、五万円＝第四銀行、一万円＝久保田鉄工、一万円＝千円＝岡山県西大寺市青年団、千円＝保健婦会県支部、一万円＝立正佼成会九千円＝BS第三同、十万円＝県市長会、二千四百円＝県市長会、二千四百円＝名古屋坂下建築士会、一万円＝湯の谷村、五万円＝新潟相互銀行、五万円＝新潟銀行、五万円＝県市町村会、五万円＝県市町村議会議長会、三千円＝県商会第一次義援金、七万円＝兼市、同社会福祉協議会、同区

救援物資

醤油（二リットル詰）百円＝大光相互銀行、石鹸＝大光相互銀行、石鹸＝新潟相互銀行、塩（六百二十グラム）六百五十四袋、たばこ六百五十四箱＝専売公社新潟支社（県経由）、マッチ小箱千二百個＝新潟鉄道KK、衣類、雑誌円生活手（京都市外）、缶詰五十個＝谷美浪枝（新潟市外）、衣類三十五ヒ、シャツ二十枚＝日産センター（県経由）、タオル二十枚＝食堂レストン（県経由）、バスタオル八百六十枚＝鶴岡省（山形県）、食品すしこ六百五十六袋＝タマノ井酢（東京都）、衣類＝沖野佳子（札幌市）、長靴二十九足、布靴二十足＝月星ゴムKK（大阪市）、衣類五ヒ＝出雲石（京都市外）、衣類三十六袋＝ダイエー（東京都）、衣類＝沖から毛布百枚、歯布百枚、歯磨粉、ハブラシ、ハブラシ、ハブラシ